

## 1. 短期予測 (p. 1)

- ① [アメリカ経済更に好調] 7~9月期米経済は4%以上の成長も。フレディマック、ファニーメイなどの不正経理問題や停電もさして影響せず。
- ② [予想される「みずほ」解体、そして日本解体] 小泉再選の為ブッシュとの密約で、日本株は1万円台を回復、「みずほ」の外資への売却も約束か。
- ③ [亀井氏の問題：半島人脈] 小泉の北朝鮮封鎖戦略に追い込まれた半島系人脈が亀井周辺に結集。真の国益派＝尊王開国派不在が日本の悲劇。
- ④ [六カ国会議の行方] 最終的なアメリカによる北朝鮮攻撃に向けた、大義名分づくりと時間稼ぎの為のセレモニー。
- ⑤ [日本経済の2.3%成長はトリック] 4~6月期の0.6%成長は特殊季節要因によるもので、7~9月期の統計は厳しいものになる。

## 2. 展望①国内政局 (p. 5)

- ① [亀井、野中への攻撃] 亀井と山口組系三菱会＝闇金融との関係、野中の元秘書の5000万円提供事件などが一斉に噴出、小泉側の対抵抗勢力攻撃激化。
- ② [ベーカー駐日大使と小泉再選] ベーカー大使が中曽根、橋本等を訪問して「小泉再選」を要請。小泉再選固まるも、自衛隊イラク派遣遅延でブッシュと軋轢も。

## 3. 展望②中東情勢 (p.7)

- ① [バグダッド国連本部爆破の背景] シオニスト・タカ派と組んだチャラビ・イラク国民会議代表派の犯行か。イラク混乱から中東大動乱へ。
- ② [シャロン首相：イラン・ブシェール原発先制攻撃を主張] 7月のブッシュ・シャロン会談で、イランの核脅威を未然に防ぐ為、イラン原発先制攻撃を主張。

## 4. 展望③露ユコス社の国際ネットワーク (p.10)

ロシア最高検察による露石油大手ユコス社攻撃の背景には、ユダヤ問題あり。ユコス会長ホドルコフスキーは国際ユダヤ組織「ロシア・オープン・ファウンデーション」にジェイコブ・ロスチャイルド卿、キッシンジャーなどを集め、プーチン政権を牽制。ロシア最大の国富である石油利権を巡る英米石油メジャーの暗躍も背後にちらつく。ロシアは原油依存経済からの脱却か否かの岐路に立たされている。